

洪 恵子 先生

先生のプロフィール

【出身地】

東京都

【専攻】

国際法

【近年(2~3年)の担当科目】

国際法総論 A・B、International Law(国際教育科目) ほか



[Q1.先生が考える国際法の魅力や、国際法の研究をするようになったきっかけを教えてください。]

国際法の研究を志したのは、上智大学法学部の学生だったときに、山本草二先生の講義に出席し、深く感銘を受けたからです。国際法の魅力は、一見、力や政治力が支配するかに見える国際社会において、着実に法としての実効性を有して、国際関係の安定に寄与していることです。

[Q2.講義/ゼミを問わず、国際法を学習する際に重要だと思うことは何ですか?]

現実の国際関係に関心を持っていることと、世界史の知識があることです。また英語を読むことに関心がある方が良いです。

[Q3.先生の学生時代を振り返って、大学生のうちにやってよかった、やればよかった、やらなければよかった、やらなくてよかったと思うことがあれば教えてください。]

大学生のうちにやってよかった：短期留学をしたり、留学生のホスト・ファミリーになったこと、国際交流のサークルに参加したこと、(複数の大学の学生からなる)模擬国連で活動したこと。

[Q4.ゼミ生に期待するものを教えてください。どんな学生にゼミに来てほしいですか。また、ゼミ生にはどんな学生に成長してほしいですか。]

国際法に関心があって、真面目に勉強をしようとする姿勢を期待します。少人数の授業ですから、学生間では友情をはぐくんでほしいですし、私との間でも信頼関係を築くことができたらと願っています。

★ プログレッシブ 洪 ゼミの実態! (2023年度ゼミ生 10名)

★ 洪 先生について

とても熱心に学生に向き合ってください先生です! 国際法についてはもちろん、個人的な相談にも気さくに応じてくださいます。また、国連人種差別撤廃委員会の委員の経験もあり、難民審査の参与員もされているので、国際法や世界情勢についてとても詳しく、学生からの質問に丁寧に答えてくださいます。
学生の興味関心、問題意識を大切にします。

日々や休暇中の課題

【日々の準備、課題】

自身が選択した国際法に関する問題について調べ発表する。

【期末課題】

授業で自身が発表した国際法に関するテーマについてレポートを作成、提出。洪先生は締め切りには厳しいので、(洪先生の授業でなくてもですが)早めに準備を進めましょう。

活動内容

国際法に関する問題について調べ、発表します。テーマは学生自身で選択します。発表後は学生同士で発表テーマについて議論します。2023年度のプログレッシブ演習では、他大学の国際法ゼミと合同合宿を行い、そこで模擬裁判をしました。

条約に関する知識を増やしたり、議論を通じて様々な考え方に触れたりすることができ、視野が広がります。

基本的に学生自ら学びたいことを決めて学ぶスタイルなので、国際法や国際情勢に関心がある人に向いているゼミだと思います。